

### 第3回市民学校から

今日は、田村遺跡で発見された水田を中心に、当時の生活や弥生人の体格などについてお話をしていきたいと思います。

## 田村遺跡の水田が 語りかけるもの

岡本健児(高知女子大学教授)



田村遺跡で発見された水田跡

まず今まで、土の中から見つかった縄文・弥生時代の水田は、全国でどれくらいあるのか。それは佐賀県から青森県まで全国で十八カ所発見されており、稲作が青森県まで及んでいたことがわかります。そして、この水田の大半は弥生時代のもので、四国では田村遺跡が唯一のものであります。

私は、今までいろいろな地域で発掘を行って来ましたが、それはとてもわずかな費用でした。その

ため、十年ほど前までは水田が発見されるなどとは、あり得ないことと考えていました。ところが、現在のように全国各地で開発が進んでくると、事前の行政発掘が行われるようになり、大きなお金をかけて発掘されるようになりました。例えば、田村遺跡の発掘は空港拡張に伴う行政発掘で、実に八億円という莫大なお金を使っています。このようにお金をかけると、その発掘方法も変わってきます。今までは、トレンチ方式と言って遺跡の中心に幅二メートルの溝を掘り、掘っていない部分を想像していくというものでした。今はグリット(メッシュ)方式と言って、十文字に線を組み、まず重要なところを掘り上げ、大切な部分となると全面発掘をしていく方法です。

結局、トレンチ方式では水田の発見はできなかったと思います。やはり、お金を多くかけることによって、あのような発見ができたと思っています。

では、あれほど広い水田がどうして土の中に埋まっていたのか。それには二つの条件が考えられます。①洪水で埋まってしまう②火山灰で埋まってしまうかのどちらかで、それも一夜にして埋没してしまったのです。また、足跡

が残っているのは、できた足跡が急激に埋まったと考えられます。

多分、台風でも来そうな空模様だったので、弥生人が田を見回りに行き、田に入り足跡が残った。そしてその夜、洪水が来て何もかもを埋めつくしてしまったのでしよう。

田村遺跡で発見された足跡の大きさは、二一・五センチでやや小さく、その足長から、田村の弥生人の身長はわかりません。

しかし一般には、人骨の研究から、弥生人の身長は四つの地域差があることがわかっています。第一は、佐賀、長崎を含む南九州、第二が北九州から福岡までの日本海側、第三が愛媛、徳島、濃尾平野までの地域、第四は東日本全部です。それぞれの地域は、第一地域は身長が低く、第二地域は身長が非常に高く、顔が面長で、第三地域は身長は高いが面長でない、第四地域は身長が低くなっています。

残念なことに、高知県からは人骨が出ていないので、どの地域に属するかはつきりしませんが、多分第一の地域に入ると私は考えています。

水田の種類は、次の三つに分けられます。

- ①地下水位(湿地)：谷間の水の

わき出る所を利用。板付遺跡などで、一つの田が大きい。

②表面水型(大規模かんがい用水)：古墳時代になってから。

③中間型(半乾半湿)：田村遺跡の水田は、この中間型の水田で、田移し方式と言って、高さ十センチの畦畔を越して水が入っていくもので、小さき水田となっています。

この水田の年代は、いろいろな遺物(石包丁、紡錘車、磨製石鏃など)から考えて、弥生前期中葉のもので、今から二千六百六十一年前のものと推定されています。

では、あの水田でどれ位のお米がとれたのでしょうか。平安時代の資料から換算すると、田村遺跡の水田五三〇〇平方メートル、三三八〇合となります。同資料から一日四合食分として計算すると、二・三人分しか賄うことができません。一般に一つの集落には、二十人ほどがいますので、米だけでは到底足りず、シイやドングリなどを粉末にしたもので補っていたものと思われる。

西見遺跡からモミ跡のついた土器が出土していますが、たぶんこのモミ跡も、あの水田で作られたモミの一つであったかも知れません。

## 学校ぐるみで美化運動

北陵中で空き缶拾い



身の回りにから環境美化をすすめるよう、北陵中学校(山本啓一)

校長・生徒数三百三十三人)では生徒会が呼びかけて、全校生徒が六月五日からの環境週間に、通学路や自宅周辺の空き缶拾いを集めました。

最終日の十一日に、みんなが一週間集めた持ち寄った缶はトラック二台分。環境美化に対するモラルの低さがうかがえます。

またこの期間には、国語の授業で機語を募集し、美術の時間には啓発ポスター作りと、学校ぐるみ

ポイ捨て缶をまとめる生徒会の役員たち

で環境美化意識の高揚に努めています。そして、ポスターを全て廊下に展示し十位までを表彰、集まった缶は各クラスごと、収集量によって順位をつけ発表というよう

な、ユニークな方法で取り組んでいます。指導をされる友村教頭は、「中学生である子どもたちが、社会の一員として、自分たちも環境美化運動に積極的に参加した」という自覚が大切で、それは子どもたちの健全育成にもつながっていくと思います」とのこと。

多感な青少年期に、しっかりと意識を持つことそれは非行防止とともに、子どもたちの豊かな心を育てるためにも役立ちます。みんなの力で、いつまでも美しい南国市を、



賞(記念品)五人

第139回正解者発表(敬称略)

(応募総数 通)

■こたえ・(学校)〇

■特賞・千円三人

■松村美貴子(比江)

■岡崎博子(前浜)

■浜田寿和(明見)

■残念賞・記念品五人

■森田鶴子(後免) 岩村康司(岡)

■豊・岡林英男(久礼田) 竹内啓

子(大坪) 山本賢一(大坪)



### 南国歌壇

美しき老いむつかしと思いつつ

一日草ぬく妻の奥津城

篠原 山本 茂

鶯の声とほり来るカルストの

温みをもてる岩に身を寄す

西島 高橋佐代

育みし青葉さらめき初夏の

風情まぶしき三島の山

三島 小笠原綾子

内縁のしだれの梅は紅さして

ふくらみ初めし乙女にふさわし

里改田 楠瀬米井

赤と青の紫陽花庭に咲きそろう

次男は女兒が生まれしと云う

濃緑の稲田うねらせ時じくの

肌へにさむき雨風わたる

大坪 中田憲秀

### 南国柳壇

新島種虫に試食を先にされ

三島 井沢正子

枯れもせず花も咲かず古厩

植田 吉本其梅

孫富校老人惚けになる等

十市 武市日出志

ファッションの若者の旅もの

立田 北村幸江

### 南国俳壇

少女たち五月の或る日采けたり

女ひとり死ねばあふれる五月雨

遠眺古き壺ほど閑深し

夾竹桃朝の舗道に微笑こぼす

夢の父いつも笑わず夏が来る

あじさいに露はうれしく群がりぬ

うば玉の闇に鶴卵の雛見ゆ

絵に画くとすぐ持ち帰る花菖蒲

庭先に島に溝に花菖蒲

楠瀬秀子(花柳俳句会)

岡田昌子( )

福井英子( )

川田玉恵(大塚俳句教室)

山崎勝子( )

田中隆夫( )

大谷みえ(柿の実会)

橋本きよ女( )

溝淵なお( )